

H. P. Report

. NETについて (3)

次にWeb環境でのGUIについてですが、Javaも、NETもWebブラウザ上でプログラムを動かすことによって複雑なGUIを実現しています。Javaの場合はJavaアプレットと呼ばれ、. NETの場合IE上でWindowsフォームコントロールと呼ばれる、. NETプログラムが動作します。この場合、Javaアプレットが動作するにはJavaVMが必要ですがWinXPには標準搭載されていませんし、Windowsフレームコントロールの実行に必要な、. NET FrameworkもWinXP/2000/98には標準では搭載されていないなど制限があります。つまり実際に動作させる場合はいろいろと条件があるということです。ただ、実効環境を配布することが困難であっても、. NETでは、ブラウザによってHTMLとJavaScriptだけである程度複雑なGUIを作ることができます。またクライアント環境は、WindowsやIEだけで限定されるわけではありませんが、IEでは動作するものが、NetscapeやOperaでは動作が遅くなってしまう場合があります。これは、ASP.NETがブラウザの種類を判断して、ダイナミックHTMLを使わないページを生成するため、ページを書き換えるために時間がかかってしまう場合があります。

コスト面から比較をすると、有償ソフトを使用するとした場合、ハードを含めて、NETの方が安くなります。この場合、Javaを動かすサーバは商用UNIXで、APサーバソフト、UNIX、サーバ本体と、NETのサーバ機能を含むWindows 2000 Advanced Server、パソコンサーバとなりますからその差は明白です。しかし、Javaの場合、OSとしてはLinux、APサーバとしてはTomcatなど無償ソフトもいろいろあるため、一概に、NETのほうが安いということとは言えません。

Javaの強みは何といっても実績ということになります。大規模で高負荷なシステムでの採用事例も多く、主要なバグは出つくしているという事が言え、トラブル回避のノウハウも蓄積されているということが出来ます。確かにどのようなバグが潜在しているかはわからないわけですから、この点はいかんともしがたく、今後の採用による蓄積を待つしかありません。

オープン性もJavaの強みです。JavaがいろいろなOS上で動作し、Webアプリケーションサーバも多くのベンダーが開発して、いろいろなものを選ぶことができるのに対して、. NETは、Windows以外の選択肢はありません。しかし、. NETはいろいろな開発言語を使えるという点でオープンな部分があるということが出来ます。これは例えば、画面部分をASPやVBの経験を生かしてVB.NETで、業務部分はオフコンなどのソフトウェア資産をコンポーネントとしていかせるようにCOBOLで、DBアクセス部分はJavaのノウハウを活かせるようC言語で作るなど、いろいろな組み合わせを利用することが出来ます。

このように、これまでWebプログラムはJavaという概念を破り、(なんだか1企業の思惑にひきづられそうですが)これまでのCSシステムでの開発ノウハウを活かせるような環境が、NETという事が出来ます。今のところJavaに比べて実績も少なく、これからどのような巨大システムに活用されていくかにはなりますが、Web対応システムの普及に伴い利用していく必要がある環境であるということはいえます。

(次回に続く)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 7月21日号

特集 読書端末からベストセラー

→電子書籍が一気に拡大する可能性がでてきた。これまでも電子書籍としていろいろなアプローチを行ってきたが、これまではパソコンやPDAが中心であったが、携帯電話を端末にしようとしている。メールやWebで利用している携帯電話に表示して読書にふける日々が来るのか。

解説 ホットな機器に水冷技術 標準化とスリム化で普及狙う

→パソコンに水冷のものがでてきた。高性能になるに従い発熱量が増え、新しいMacでは9つものファンが組み込まれている。水冷が手軽に導入できるようになって、採用され、より安くより小型軽量化が進む。

○日経パソコン 7月21日/8月4日号

特集 ノートパソコン高速化計画

→ちょっと古くなったWindows 98パソコンをXPパソコンに生き返らせるには。ノートパソコンは、ハードディスクの交換とメモリ増設が高速化。実際するには自己責任で注意して。

特集 Office 2003のすべて

→この秋Office 2003が登場する。変更点はビジネスツールとしてのネット連携の強化と使い勝手の向上。使い方としては、Webの検索サイトから関連情報を集めることが可能で、Officeの使い方もネットでサービスされる。ネット連携としては、XMLに対応し、セキュリティ機能も強化される。

レポート 全国市町村情報化実態調査

→情報化が進んでいる市町村。その実態は、ハードの導入は進んでもソフト面の取り組みはまだまだ。セキュリティ対策がまだまだで、ウィルス対策を行っていない自治体が1.2%もある。

○日経バイト 8月号

特集 携帯電話は万能ツールの夢を見るか

→単なる電話だった携帯が、メールができるようになり、Webが見れるようになり、デジカメもメガピクセルになってきて、次の新たな可能性を模索している。電子チケットや電子マネーの試みが始まり、デジタルテレビが見れるようになる。

特集 パソコン仕様の正しい読み方

→カタログに記載された使用の内容をどう読めばよいか。実際使った場合の電力とバッテリーを検証。

○日経システム構築 8月号

特集 システムはなぜ止まったのか

→航空管制、銀行などのシステムがなぜ止まったのか。有効な再発防止策を打ち出すには、どんな現象がなぜ起きたのかをシステムレベルでつかむ必要がある。バグをあぶり出すには、障害の可能性を評価するには、障害への備えを強化するには。最近のトラブルを掘り下げ回避策を探る。

特集 プロジェクトの遅延を防ぐ

→システム構築プロジェクトのトラブルの内容は、納期遅れ、コスト超過、機能/品質不備などさまざまだが、マネジメントの不在が共通している。プロジェクトの遅延を防ぐ効果的なプロジェクトマネジメント技術を学ぶ。

○N+I NETWORK 9月号

特集 ファイアウォール最適活用のポイント

→ネットワークセキュリティを守る古くて新しいテーマが「ファイアウォール」。最新の機能と構築の手順、各種設定の詳細を解説。

特集 SSL VPN導入「超」入門

→拠点間を接続するインターネットVPN。現在はIPsecが中心だが、ここにSSL VPNが注目されてきた。SSL VPNはSSL対応機器をインターネット側に接続することによって、Webブラウザ経由でリモートアクセスを実現する。SSL VPNは、インターネットWebの持つセキュア通信機能で実現する。

○ASCII 8月号

特集 Windowsはなぜ落ちるのか？

→落ちにくくなったとはいえXPでも2000でもWindowsは落ちることがある。Windowsの仕組みを知り、トラブルへの対処法、予防策を探る。

特集 ホームLANまるわかり

→会社ならともかく、家にはネットワーク管理者がいない。ホームLAN構築に必要なネットワークの基礎から実際の接続、機器の設定、便利なワザまで。

○DOS/V magazine 8月15日号

特集 PC冷却完全マニュアル

→暑い夏に高性能で発熱の多くなったPC内部。冷やすためにはファンが付いている。新しいMacには7個も。では現状売っているファンはどの程度のものか、また、どうすれば効率よく冷やすことができるか。CPUだけじゃない、ビデオカードだって冷却が必要。完全マニュアル。